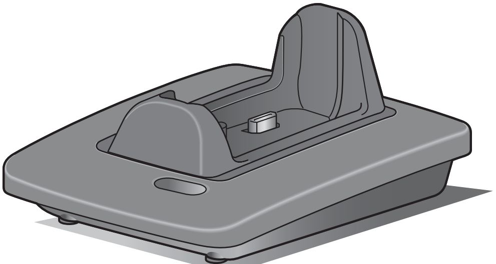
取扱説明書

SANYO

AV接続キット
品番 VCP-HD700KIT用

AV接続キット(別売:VCP-HD700KIT)をご購入いただいた方へ

- DMX-HD800には新しい機能が追加されております。DMX-HD800でAV接続キットを使う場合は、本書をお読みください。
- ただし、AV接続キットの保証書についてはVCP-HD700KITに付属の取扱説明書に記載されている保証書をご使用ください。



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。また、後々のために大切に保管してください。

もくじ

■準備

■テレビで再生する

■Xactiライブラリを使う

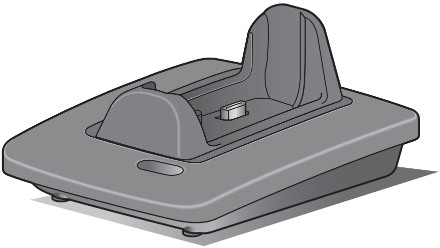
■他の機器との接続

■付録

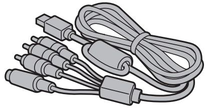
付属品を確認する

AV 接続キットを使うと、DMX-HD800 をテレビに接続したり、Xacti ライブラリ機能を利用することができます。
もちろん、パソコンやプリンタにも接続できます。
AV 接続キットには、以下の物品を梱包しております。

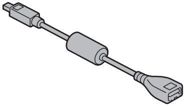
●ドッキングステーション：1個[P5・7]



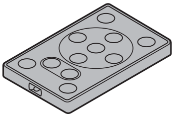
●専用S-AV接続ケーブル：1本
[P12]



●専用USB変換ケーブル ：1個
[P22]
- Xactiライブラリ機能で使用します。

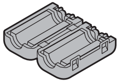


●リモコン ： 1個[P6・8]

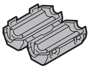


●コア：3 個
< HDMI ケーブル用 [P15] >

大：

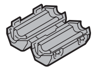


小：

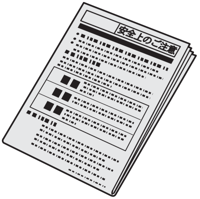


< USB ケーブル用 [P22] >

小：



●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。

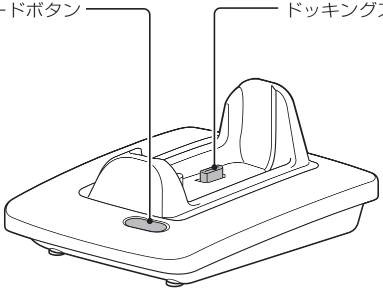


●保証書について
AV 接続キット（VCP-HD700KIT）取扱説明書の裏表紙が保証書になっております。本書と併せて大切に保管してください。

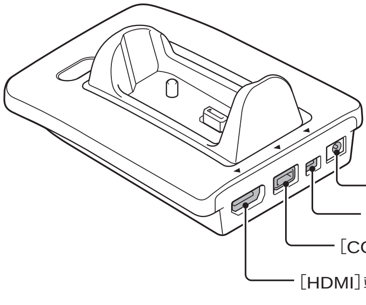
各部の名前

ドッキングステーション

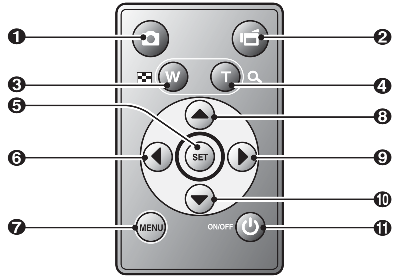
前面



後面



リモコン



＜撮影モード時＞

❶[ ]ボタン
❷[ ]ボタン
❸ズームスイッチを[W/]側に押した時と同じ働きをします。
❹ズームスイッチを[T/]側に押した時と同じ働きをします。
❺[SET]ボタン
❻[SET]ボタンを左側に押した時と同じ働きをします。
❼[MENU]ボタン
❽[SET]ボタンを上側に押した時と同じ働きをします。
❾[SET]ボタンを右側に押した時と同じ働きをします。
❿[SET]ボタンを下側に押した時と同じ働きをします。
⓫[ON/OFF]ボタン
- カメラをドッキングステーションに装着している時にのみ動作します。

＜再生モード時＞

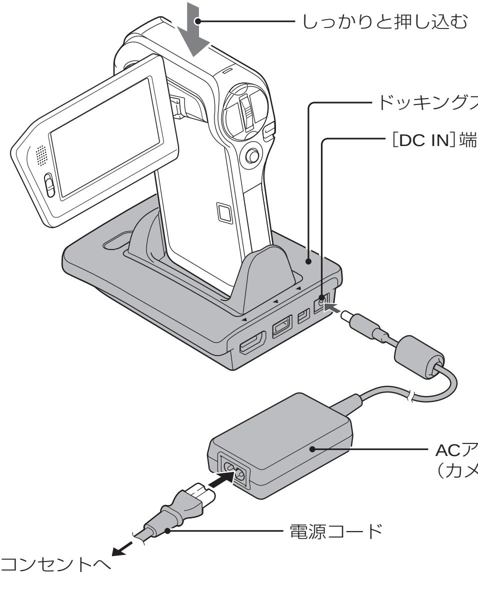
❶[ ]ボタン
❷[ ]ボタン
❸ズームスイッチを[W/]側に押した時と同じ働きをします。
❹ズームスイッチを[T/]側に押した時と同じ働きをします。
❺[SET]ボタン
❻[SET]ボタンを左側に押した時と同じ働きをします。
❼[MENU]ボタン
❽[SET]ボタンを上側に押した時と同じ働きをします。
❾[SET]ボタンを右側に押した時と同じ働きをします。
❿[SET]ボタンを下側に押した時と同じ働きをします。
⓫[ON/OFF]ボタン
- カメラをドッキングステーションに装着している時にのみ動作します。

ドッキングステーションを準備する

付属のドッキングステーションは、パソコンやプリンタ、テレビに接続したり、カメラに装着した電池を充電する場合に使います。

1 ドッキングステーションを電源コンセントに接続する

- カメラに付属のACアダプターと電源コードで接続します。
- カメラをドッキングステーションに装着します。



リモコンを準備する

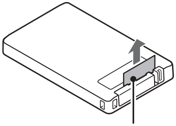
このカメラは、リモコンを使って撮影 / 再生ができます。

電池を準備する

お買い上げの際は、リモコンに電池が入っています。

1 電池絶縁シートを引き出す

- 電池絶縁シートを引き出すと、リモコンが操作できるようになります。



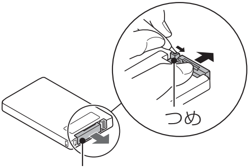
リモコンの電池の交換方法について

リモコンの電池は、使いかたにもよりますが、約1年をめやすに下記要領でリチウム電池(CR2025：1 個)を交換してください。

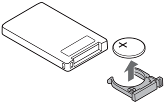
古い電池を取り出す

❶電池スロットを引っ張り出す

- 電池スロットのつめを押した状態で引き抜きます。



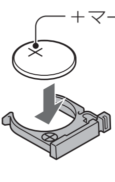
❷電池を取り出す



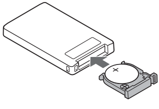
新しい電池を入れる

❶新しい電池を入れる

- 電池は、乾いたきれいな布でふいてから、プラス⊕マーク側を上にして入れてください。



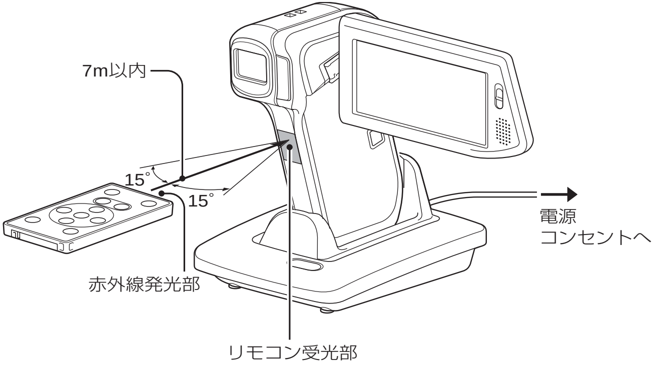
❷電池スロットをはめ込む



リモコンを準備する（つづき）

リモコンの使いかた

リモコンで操作できるのは、カメラ正面のリモコン受光部から水平左右15度直線距離で約7m以内の範囲です。リモコン受光部と、リモコンの間に障害物があると、操作できない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。



注意!

- 太陽光の下やインバーター照明の近くでリモコン操作をする場合、リモコンの到達距離が短くなることがあります。これは、赤外線リモコンの特性によるもので、故障ではありません。誤動作防止のため、リモコン操作時は、リモコン受光部に強い光を当てないように注意してください。

リモコンコードの切り替えかた

このカメラのリモコンは、赤外線リモコン操作のできる、他の当社製カメラにも働きます。当社製カメラを 2 台ご使用の場合、1 台のカメラのリモコンコードを切り替えると、誤操作を防止できます。お買い上げの際は、[リモコンコード 1] に設定しています。

＜カメラの[リモコンコード１]を[リモコンコード2]に変更する時＞

1 リモコンの赤外線発光部を、カメラのリモコン受光部に向ける

2 [MENU] ボタンと [ ] ボタンを同時に 3 秒以上押す

3 リモコンの操作ボタンを押して、カメラの動作確認をする

- リモコンやカメラの電池を交換しても、設定したリモコンコードを記憶しています。
- カメラとリモコンのリモコンコードが一致していないと、リモコンでの操作はできません。

＜[リモコンコード1]に戻すには＞

1 リモコンの赤外線発光部を、カメラのリモコン受光部に向ける

2 [MENU] ボタンと [ ] ボタンを同時に 3 秒以上押す

テレビに接続する

カメラをテレビに接続すると、カメラに装着したカードのファイルをテレビで再生することができます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

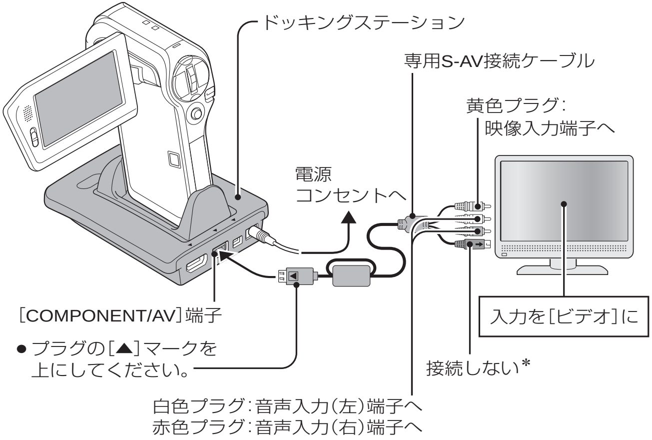
- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

映像出力について：接続するケーブルによって、映像の出力先が変わります。

接続ケーブル	映像出力先	撮影モード		再生モード
		待機中	録画中	
専用 S-AV 接続ケーブル	カメラのモニター	NTSC：× PAL　：○	○	×
	テレビ	NTSC：○ PAL　：×	×	○
HDMI ケーブル	カメラのモニター	×	○	×
	テレビ	○	×	○

○：出力します　×：出力しません

通常の映像入力端子に接続する

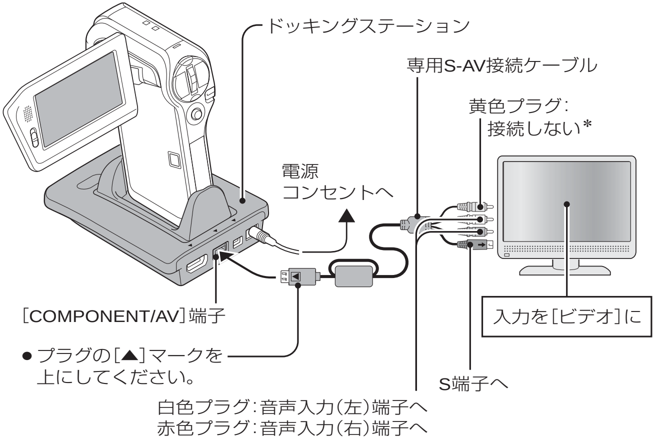


*接続すると、テレビに映像が正常に出ない場合があります。

テレビに接続する（つづき）

S映像端子に接続する

＜S映像入力端子に接続する場合＞



*接続すると、テレビに映像が正常に出ない場合があります。

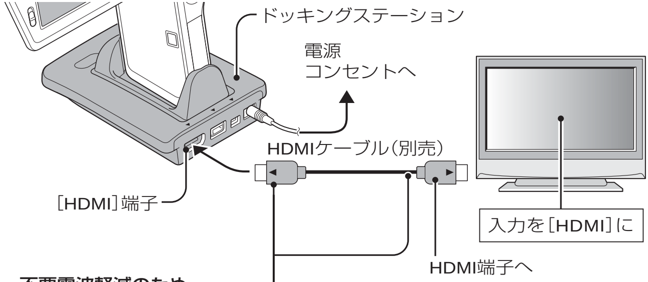
注意!

メニュー画面がカメラとテレビで違う？

- メニュー画面はテレビにのみ出ますので、テレビを見てカメラを操作してください。

テレビに接続する(つづき)

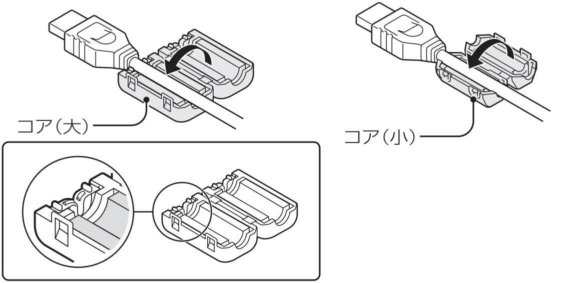
HDMI端子に接続する



不要電波軽減のため

● コア(付属)を取り付けてください。

<ドッキングステーション側>　<テレビ側>



ヒント

● HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition　Multimedia　Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

テレビで再生する

- 接続後､テレビの入力をカメラを接続した端子に切り替えてください。
- カメラをテレビにつないだ時は、カメラのモニターの表示が消えます。
- 音声を再生する時も､カメラで再生する時と同じ操作で再生できます。
- リモコンで再生ができます[P6]。
- カメラで再生するときと同じ操作で再生できます。
- ドッキングステーションに装着しているカメラがスリープ状態になった場合は、ドッキングステーションの動作モードボタンやリモコンの[ON/OFF]ボタンを押すとカメラの電源を入れることができます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ヒント

カメラのTV方式の設定を[PAL]に設定し、付属の専用S-AV接続ケーブルを接続した場合の表示について

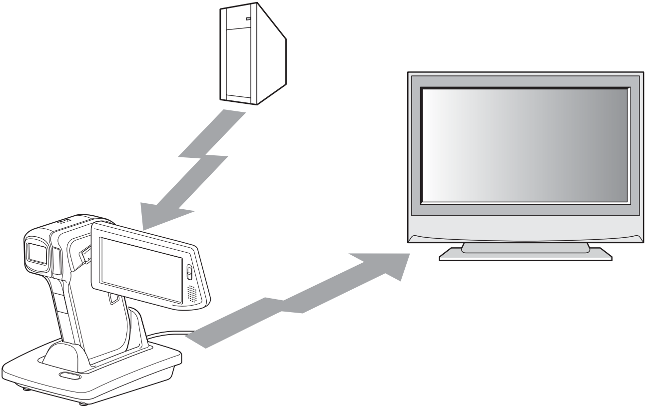
撮影する時：モニターにのみ画像が出ます。テレビには画像が出ません。
再生する時：テレビにのみ画像が出ます。モニターには画像が出ません。

Xactiライブラリの楽しみかた

Xacti ライブラリは、カメラのカードに格納しているファイルをパソコンを使うことなく大容量ハードディスクに保存し、管理 / 再生するシステムです。

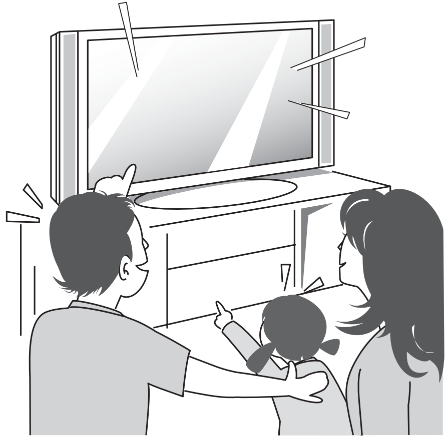
カメラへ、ハードディスクへ、ファイルをかんたんコピー

カメラで記録したファイルをハードディスクに、またハードディスクのファイルをカメラに装着したカードにコピーできます。



撮った画像を高画質のまま再生

ハードディスクのファイルを直接テレビに出力するため、撮影した動画クリップの画質を落とすことなく再生することができます。また、カードのファイルも再生できます。



Xactiライブラリの楽しみかた(つづき)

アルバム機能でファイルを管理

アルバムには、任意のファイルを登録することができます。ロール単位でコピーしたファイルの中から必要なファイルを選んでアルバムに登録することで、ファイルの検索性が向上します。



ヒント

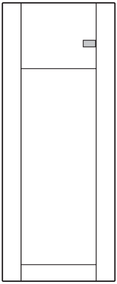
- 「ロール」とは、フィルムカメラのフィルムを指し、フィルム1本を1ロールと言います。デジタルカメラの場合、記録したファイルはカード(または内蔵メモリ)に保存するため、1枚のカード(または1つの内蔵メモリ)を1個のロールと言います。例えば、ロール単位のコピーでは、カメラのすべてのファイルをハードディスクにコピーします。

機器をそろえる

Xacti ライブラリを使うには 、本製品の他に以下の機器が必要です。

ハードディスク

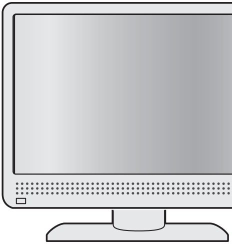
USB 2.0High-Speed 対応の USB 端子を装備しているハードディスクです。対応しているハードディスクについては、57 ページと弊社ホームページを参照してください。
http://www.sanyo-dsc.com/



機器をそろえる（つづき）

テレビ

フルハイビジョン対応のテレビをご用意いただくと、フルハイビジョンで撮影した動画クリップを本来の画質で楽しむことができます。

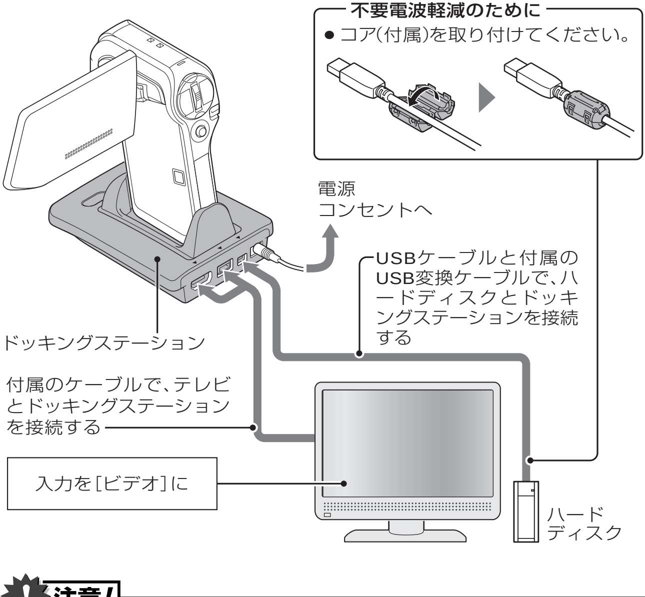


その他

- ドッキングステーションとハードディスクを接続するケーブル（例：USB 接続ケーブルなど）が必要です。

接続する

各機器を接続します。
※カメラおよび各機器は、電源を切った状態で接続してください。



注意!

取りはずす時の注意

- Xactiライブラリ使用中に、ドッキングステーションからカメラをはずしたり、USBケーブルをはずさないでください。メディアへのアクセス中にUSBケーブルをはずすと、メディア内のファイルが破損する恐れがあるばかりではなく、メディアをフォーマットしなければならない場合があります。
- カメラの取りはずしは、必ず、カメラの電源を切ってから行なってください。電源を切る操作で、ドライブを正常に取りはずすことができます。

Xactiライブラリを起動する

各機器の接続が終わったら、Xacti ライブラリを起動します。Xacti ライブラリの操作は、カメラのボタンでもできますが、テレビ画面を見ながらリモコンで操作されることをおすすめします。
以降の操作は、リモコンを使って説明します。

1 テレビ→ハードディスク→カメラの順で電源を入れる

- カメラの電源を入れると、Xactiライブラリのメインメニューが出ます。



<メインメニュー>

[データ転送]：ファイルをコピーします[P24・25]。

[再生]：ファイルを再生します[P32・35]。

[アルバム]：アルバムを作成・編集または再生します[P34・36・40]。

- 初めてXactiライブラリに使用するハードディスクの場合は、ライブラリを作成する確認画面が出ます。この場合は、操作 **2** へ進んでください。

2 [作成] を選び、[SET] ボタンを押す

- ライブラリを作成し、メインメニューが出ます。

ヒント

- 自動的に電源をON/OFFできるハードディスクの場合、カメラの電源操作によって、自動的にハードディスクの電源もON/OFFします。

コピーする

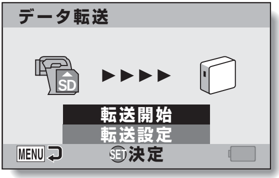
カードからハードディスクにコピーする

カメラに装着したカード内のファイルをハードディスクにコピーします。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。



3 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、[SET] ボタンを押してください。

コピーする(つづき)

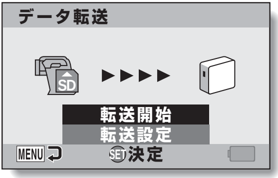
ハードディスクからカードにコピーする

ハードディスク内のファイルをカメラに装着したカードにコピーします。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。



3 [転送設定] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面が出ます。

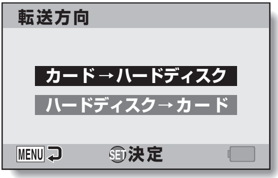


4 [転送方向] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送方向の設定画面が出ます。

[カード→ハードディスク]：
カードのファイルをハードディスクにコピーします。

[ハードディスク→カード]：
ハードディスクのファイルをカードにコピーします。

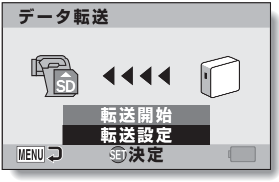


5 [ハードディスク→カード] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。
- コピーするロールを選ぶ画面が出ます。

6 コピーするロールを選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。



7 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、[SET] ボタンを押してください。

ヒント

- データ転送方向は、メインメニューで[データ転送]を選んで[SET]ボタンを押すと、自動的に[カード→ハードディスク]になります。

コピーする（つづき）

ファイル単位でコピーする

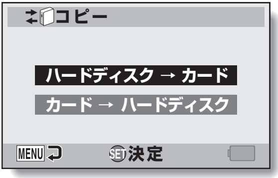
コピーするファイルをテレビまたはモニターで確認し、1 個ずつコピーすることができます。

1 再生画面が出ている時に [MENU] ボタンを押し、NORMALモード再生メニュータブ2 の[コピー] を選んで、[SET] ボタンを押す

- コピー画面が出ます。

[ハードディスク→カード]：
ハードディスクのファイルをカードにコピーします。

[カード→ハードディスク]：
カードのファイルをハードディスクにコピーします。



2 コピー方向を選び、[SET] ボタンを押す

3 コピーするファイルを表示する

4 [コピー] を選び、[SET] ボタンを押す

- コピーを開始します。

ヒント

ファイルを消去するには

- ファイルの再生画面で消去の操作を行ってください。ファイルを消去する操作は、カメラでファイルを消去する操作と同じです。
- カードからハードディスクへファイルをコピーする時、同時にコピー元のファイルを消去することもできます[P29]。

コピー動作を設定する

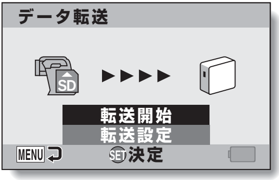
コピーの方向やコピー後のファイルの処理を設定します。

転送設定画面を出す

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。



3 [転送設定] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面が出ます。



コピーする（つづき）

コピー後のファイルの処理を設定する

コピー後、コピー元のファイルを消去する / しないを設定します。

1 転送設定画面を出す [P28]

2 [転送後消去] を選び、[SET] ボタンを押す

- コピー後、コピー元のファイルを消去する/しないを選ぶ画面が出ます。



3 コピー後のファイルの処理を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。

ヒント

- コピー後にコピー元のファイルを消去する設定ができるのは、ファイルをカードからハードディスクにコピーする場合だけです。ハードディスクからカードへコピーする場合、コピー元のファイルを消去することはできません。

日付別に振り分けてコピーする

撮影年月日ごとのフォルダを作成し、撮影年月日に応じたフォルダにファイルを格納します。

1 転送設定画面を出す [P28]

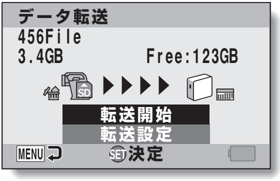
2 [日付別振り分け] を選び、[SET] ボタンを押す

- 撮影年月日ごとに分けてコピーする/しないを選ぶ画面が出ます。



3 [振り分ける] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。



コピーする(つづき)

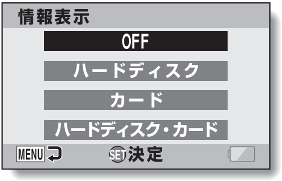
ファイル情報表示を設定する

データ転送画面のカードやハードディスク内のファイル数や使用容量、ライブラリに使える空き容量表示を設定します。

1 転送設定画面を出す [P28]

2 [情報表示] を選び、[SET] ボタンを押す

- 情報を表示するメディアを選ぶ画面が出ます。



3 情報を表示するメディアを選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。

再生する

ハードディスクのファイルを再生する

Xacti ライブラリのコピー機能でハードディスクにコピーしたファイルを再生します。
ハードディスクにコピーしたファイルをロール単位で再生します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの[再生]を選び、[SET]ボタンを押す

- 再生するメディアや方法を選ぶ画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。



3 ロールタブまたはカレンダータブを選ぶ

ロール単位で再生する：
ロールタブを選ぶ

ハードディスクにコピーした日付を指定して再生する：
カレンダータブを選ぶ

4 [SET] ボタンを押す

再生する（つづき）

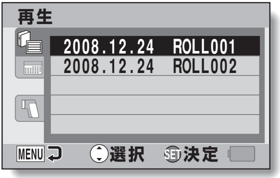
5 再生するロールまたは日付を選び、[SET]ボタンを押す

● ファイルを再生します。
● 以降の操作は、カメラでの再生と同じです。



<ロールを選択する画面が出た場合は>

● 指定した日付に複数のロールがある場合は、ロールを選択する画面が出ます。再生するロールを選び、[SET]ボタンを押してください。



ヒント

Xactiライブラリの画面に戻るには？

● 9画面マルチ表示画面で[W/ ▦]ボタンを2回押すと、操作 5 の画面になります。

アルバムを再生する

アルバム [P36] に登録しているファイルを再生します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [アルバム] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。



3 再生するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- アルバムに登録したファイルをスライドショー再生します。
- スライドショー再生を終了するには、何かボタンを押してください。

ヒント

アルバムの画像が変わった？

- アルバムに登録している画像を編集し上書き保存すると、アルバムに登録している画像は編集後の画像に変わります。複数のアルバムに登録している画像を編集する場合はご注意ください。
- アルバムへの登録状況がわからない場合は編集後の画像を新規保存することをおすすめいたします。

再生する(つづき)

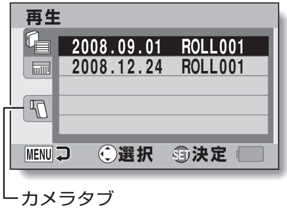
カメラのファイルを再生する

ドッキングステーションに装着したカメラのファイルを再生します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの[再生]を選び、[SET]ボタンを押す

- 再生するメディアや方法を選ぶ画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。



3 カメラタブを選び、[SET] ボタンを押す

- カメラに装着しているメディアが出ます。



4 再生するメディアを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだメディアの先頭ファイルを再生します。
- 以降の操作は、カメラでの再生と同じです。

ヒント

Xactiライブラリの画面に戻るには？

- 9画面マルチ表示画面で[W/▦]ボタンを2回押すと、操作 3 の画面になります。

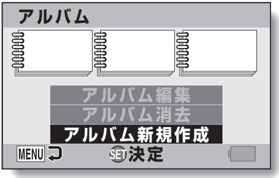
アルバム機能を楽しむ

アルバムを新規作成する

異なる日付に記録したファイルや異なるロールのファイルを登録し、アルバムを作成します。

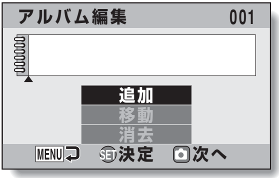
1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す



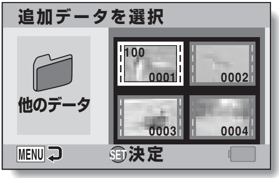
- アルバム再生画面が出ます。

3 [アルバム新規作成] を選 び、[SET] ボ タ ン を押す



- アルバム編集画面が出ます。

4 [追加] を選んで、[SET] ボタンを押す



- 追加データを選択する画面が出ます。

アルバム機能を楽しむ（つづき）

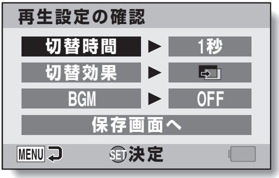
5 アルバムに登録するファイルを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだファイルをアルバムに登録し、アルバム編集画面に戻ります。



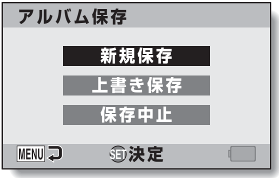
6 [📷] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面が出ます。
  再生設定を変更する→[P39]



7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

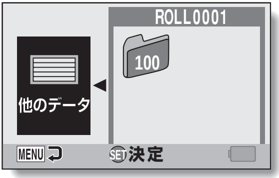


8 [新規保存] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

他のフォルダ / ロールのファイルを登録する場合

1 36 ページの操作 **4** の画面で [他のデータ] を選び、[SET] ボタンを押す



- フォルダを選ぶ画面が出ます。

<フォルダを選ぶ場合>

❶目的のフォルダを選んで、[SET]ボタンを押す
❷目的のファイルを選び、[SET]ボタンを押す

<ロールを選ぶ場合>

- 操作 **2** へ進んでください。

2 [他のデータ] を選び、[SET] ボタンを押す



- ロールを選ぶ画面が出ます。

3 ロールを選び、[SET] ボタンを押す

- フォルダを選ぶ画面が出ます。

4 目的のフォルダを選んで、[SET] ボタンを押す

5 目的のファイルを選び、[SET] ボタンを押す

アルバム機能を楽しむ(つづき)

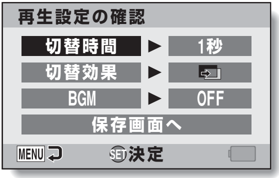
再生設定の確認(スライドショー設定)

再生設定の確認画面では、アルバムの再生を設定することができます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[BGM]：静止画再生中に鳴らす音楽を設定します。



<再生設定の確認画面>

設定を変更する場合

1 設定を変更する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定を変更する画面が出ます。



<[切替時間]を選んだ場合>

2 設定を選び、[SET] ボタンを押す

3 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

アルバムを編集する

作成済みのアルバムにファイルを追加したり、登録済みのファイルを消去することができます。また、アルバム内のファイルの位置を移動して、再生順序を変更したり、再生の設定を変更することもできます。

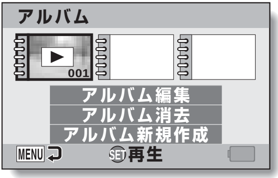
アルバムにファイルを追加する

作成済みのアルバムにファイルを追加登録します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。



3 [アルバム編集] を選び、ファイルを追加するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

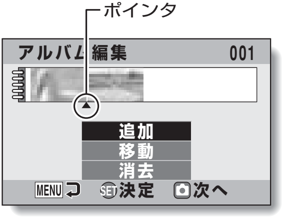
- アルバム編集画面が出ます。



アルバム機能を楽しむ(つづき)

4 [追加] を選び、ファイルを追加する位置にポインタを合わせ、[SET] ボタンを押す

- 追加ファイル選択画面が出ます。
- 他のフォルダ/ロールのファイルを選ぶ場合→P38



5 アルバムに追加するファイルを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだファイルを移動し、アルバム編集画面が出ます。

6 [📷] ボタンを押す

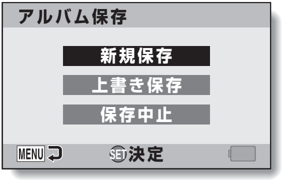
- 再生設定の確認画面[P39]が出ます。

7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。



8 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

アルバムのファイルを移動する

アルバム内のファイルを移動します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

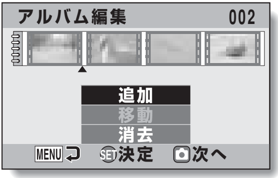
2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す

● アルバム再生画面が出ます。



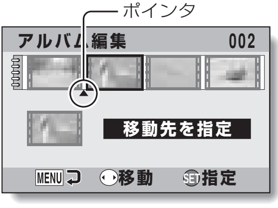
3 [アルバム編集] を選び、移動するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

● アルバム編集画面が出ます。



4 [移動] を選び、移動するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

● ファイルの移動先を指定する画面が出ます。



アルバム機能を楽しむ(つづき)

5 移動先にポインタを合わせ、[SET] ボタンを押す

- 選んだファイルを移動し、アルバム編集画面に戻ります。

6 [ ] ボタンを押す

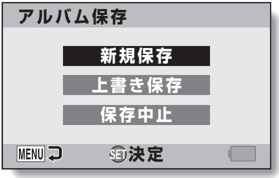
- 再生設定の確認画面[P39]が出ます。

7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。



8 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

アルバムのファイルを消去する

アルバムに登録済みのファイルをアルバムから消去（登録削除）します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

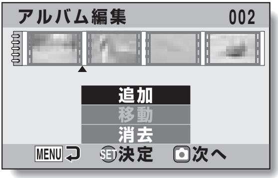
2 メインメニューの [アルバム] を選び、[SET] ボタンを押す

● アルバム再生画面が出ます。



3 [アルバム編集] を選び、ファイルを削除するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

● アルバム編集画面が出ます。



4 [消去] を選び 、消去するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す



アルバム機能を楽しむ（つづき）

5 [📷] ボタンを押す

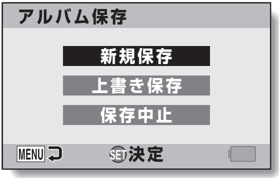
- 再生設定の確認画面[P39]が出ます。

6 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。



7 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

ヒント

アルバムが保存できない？

- アルバムに登録しているファイルをすべて登録解除すると、操作 5 以降の操作ができなくなり、アルバムを保存することができなくなります。アルバムのファイルをすべて登録解除する場合は、アルバムを消去してください[P46]。

アルバムを消去する

消去したアルバムは復活できません。消去する前に、十分にアルバムの内容を確認してください。

1 Xacti ライブラリを起動する [P23]

2 メインメニューの [アルバム] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。

3 消去するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[アルバム消去] を選んで [SET] ボタンを押す

- アルバム消去の確認画面が出ます。



4 [消去] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを消去し、アルバム再生画面に戻ります。

ヒント

消去したアルバム内のファイルは？

- アルバムを消去しても、元のファイルは残ります。ファイルの消去は、ファイルの再生画面から行なってください。

ハードディスクをフォーマットする

以下の操作で、ハードディスクをフォーマットすることができます。

1 Xacti ライブラリ機能でハードディスクのファイルを再生する画面を出す

2 オプション設定メニューの [フォーマット] を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットの確認画面が出ます。

3 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- 再度、フォーマットの確認画面が出ます。

4 [はい] を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットを開始します。
- フォーマット中は、カメラやハードディスクの電源を切らないでください。
- フォーマットが終了すると、Xactiライブラリのメインメニューに戻ります。

<フォーマットの仕様について>

- パーティションは一つになります(シングルパーティション)。
- フォーマット形式はFAT32です。

注意!

フォーマットを実行する前に

- フォーマットすると、ハードディスク内のファイルをすべて消去します。大切なファイルは、他のメディアにコピーしてください。

フォーマットできない?

- ハードディスクに再生するファイルがないと、操作 2 に進むことができず、フォーマットすることができません。
- カメラに装着しているカードをフォーマットすることはできません。

Xactiライブラリ起動時に「フォーマットしますか?」表示が出た?

- Xactiライブラリで使用できないフォーマットのハードディスクを接続しました。[はい]を選んで[SET]ボタンを押すと、ハードディスクのフォーマットを開始します。

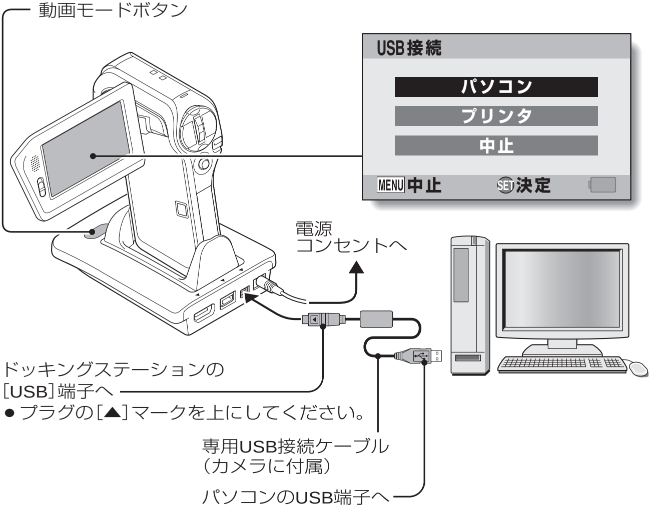
パソコンに接続する

1 パソコンを起動し、カメラに付属の専用USB 接続ケーブルでドッキングステーションをパソコンに接続する

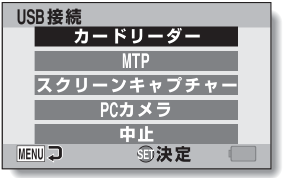
- ドッキングステーションの[USB]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 カメラをドッキングステーションにセットし、ドッキングステーションの動作モードボタンを押す

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。



3 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す



- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

[カードリーダー]：
カメラをパソコンの外部ドライブとして使います。

[MTP]：Windows Vistaを搭載したパソコンにMTP接続をします。

[スクリーンキャプチャー]：パソコンのスクリーンショットをカメラに装着したカードに保存します。

[PCカメラ]：カメラをPCカメラとして使います。

4 目的の接続モードを選び、[SET] ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

双方向のファイルのやり取りはしないでください

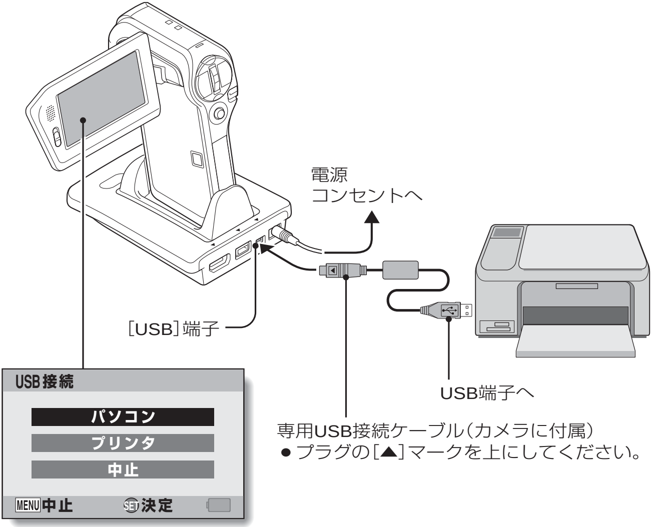
- カードリーダーモードでカメラからパソコンにファイルをコピーしている最中に、パソコンのファイルをカメラへコピーするような操作は行わないでください。

プリンタに接続する（PictBridge モード）

このカメラはPictBridgeに対応しています。このカメラはPictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます（PictBridge印刷）。

1 カードをカメラに装着し、モニターユニットを開けて電源を入れ、プリンタの電源を入れる

2 カメラに付属のドッキングステーションを使って、カメラとプリンタを接続する



3 [プリンタ] を選び、[SET] ボタンを押す

4 PictBridge印刷モードになる

- PictBridge印刷モードになり、PictBridge メニューが出ます。



注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中での操作は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

困った状態になった時

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
テレビでの再生	音声が出ない?	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整してください。	―
	通常の映像(コンポジットビデオ)出力、S映像出力、コンポーネント/HDMI出力の違いは?	―	通常の映像(コンポジットビデオ)出力:輝度信号と色信号を合成して出力します。 S映像出力:輝度信号と色信号を別に出力します。 コンポーネント/HDMI出力:輝度信号と青色差信号、赤色差信号をそれぞれ別に出力します。 画質は、通常の映像(コンポジットビデオ)出力→S映像出力→コンポーネント/HDMI出力の順で高画質になります。	―

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
テレビでの再生	画像の色が出ない 画像が乱れる	TV 出力の設定が違っている	TV 出力を正しく設定する	ー
		専用 S-AV 接続ケーブルを正しく接続していない	正しく接続する	12・13
	画像・音声が出ない	カメラとテレビの接続がまちがっている	正しく接続する	12〜15
		テレビの入力が[テレビ]になっている	テレビの入力を[ビデオ]/[HDMI] にする	
	画像の端が切れる	テレビの特性による	故障ではありません	ー
充電	ドッキングステーションに装着したカメラの電池が充電できない	ドッキングステーションにAC アダプターを接続していない	AC アダプターの電源コードを正しく接続する	7
		ドッキングステーションにカメラを正しく接続していない	ドッキングステーションとカメラがしっかり接続するように、カメラを上から押さえる	ー
		カメラの電源が入ってる	カメラの電源を切る または、ドッキングステーションの動作モードボタン[ ]を押して、マルチインジケータを赤色点灯にする	ー

困った状態になった時（つづき）

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
リモコン	リモコン操作ができない	リモコンをテレビに向けて操作している（カメラの受光部に向けていない）	リモコンをカメラの受光部に向ける（受光部から水平左右各15度以内）	8・9
		リモコンと受光部との間に障害物がある	障害物を取り除くか、避けて使う	
		電池が消耗している	新しい電池に交換する	
		電池の入れかたがまちがっている	極性（⊕⊖）に注意し、正しく入れる	
		リモコンと受光部の距離が遠すぎる	7ｍ以内のところで操作をする	
		リモコンとカメラのリモコンコードが違っている	リモコンコードの切り替えをする	10

仕　様

ドッキングステーションの仕様

品番	PDS-HD700	
[COMPONENT/AV]出力端子	専用ジャック	
	音声出力	265mVrms(−9dBs)・12kΩ以下・ステレオ
	映像出力	1.0Vp-p・75Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ 日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式(オプション画面による切り替え)
	S映像出力	Y信号:1.0Vp-p・75Ω不平衡・同期負 C信号:0.286Vp-p・75Ω不平衡 日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式(オプション画面による切り替え)
[HDMI]端子	映像出力 総走査線数(有効走査線数):750p(720p)/525p(480p) 音声出力:L-PCM　48kHzサンプリング	
[USB]端子	USB2.0 High-Speed	
DC IN(外部電源入力)端子	DC5V (カメラに付属のACアダプターVAR-G9専用)	
電源	DC5V	
定格出力	DC5V	
使用環境 温度	0〜40℃(充電時)、−20〜60℃(保管時)	
使用環境 湿度	20〜80%(非結露)	
大きさ	105.5(幅)×46.7(高さ)×80.4(奥行き)mm	
質量	約81g	

仕　様(つづき)

リモコンの仕様

品番	BRC-C3
電源	リチウム電池(CR2025)
大きさ	35(幅)×56.6(高さ)×6.5(奥行き)mm
質量	約11g(電池を含む)

Xactiライブラリに使えるハードディスク

Xacti ライブラリで使用するハードディスクは、以下の条件を満たしているものです。

● **USB2.0 に対応していること**
USB1.x 対応のハードディスクは使用できません。

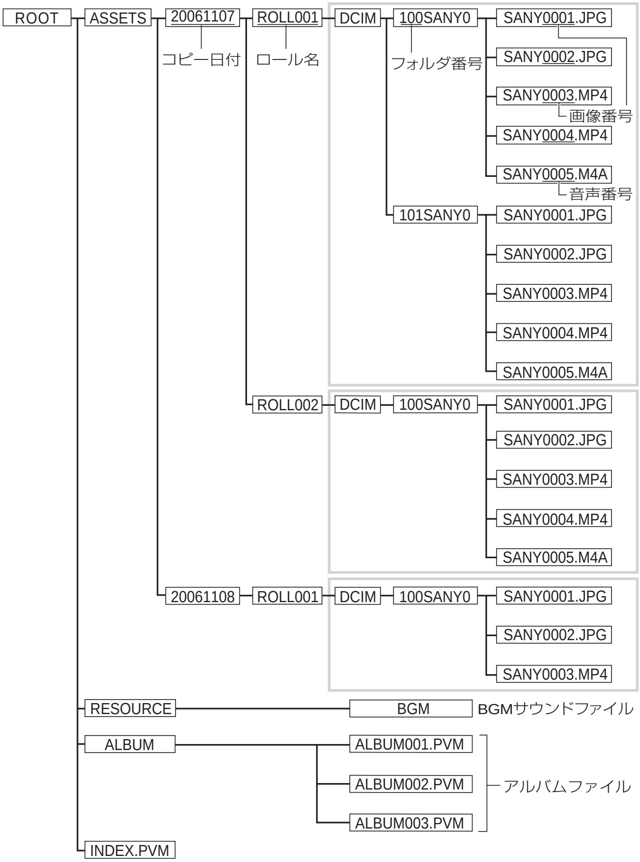
● **電源を自己供給できるもの**
USB ケーブルから電源を取る(バスパワー方式)ハードディスクは使用できません。

● **バックアップをとってください**
保存したファイルにアクセスできなくなるなど、ハードディスクのトラブルに備えて、Xacti ライブラリに使用しているハードディスク内のファイルは DVD などにコピーしておくことをおすすめいたします。
万一、ハードディスクのトラブルでファイルを消失しましても、当社では責任を負いかねます。

● **FAT32 形式で初期化したハードディスクのみ**
Xacti ライブラリで使えるハードディスクは、FAT32 形式で初期化したハードディスクのみです。他の形式で初期化したハードディスクは使えません。

● **パーティションが複数ある場合は**
なるべくシングルパーティションのハードディスクを使ってください。複数のパーティションがある場合は、優先順位の高いパーテションのみ使えます。他のパーテションは使えません。例えば、1 台のハードディスクに D：と E：のパーテションがある場合、Xacti ライブラリが使えるのは「D：」のみです。

ハードディスクのデイレクトリ構造



その他

- 本機の接続においては、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたファイルの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 保存したファイルにアクセスできなくなるなど、ハードディスクのトラブルに備えて、Xactiライブラリに使用しているハードディスク内のファイルはDVDなどにコピーしておくことをおすすめいたします。万一、ハードディスクのトラブルでファイルを消失しましても、当社では責任を負いかねます。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

商標について

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　三洋電機㈱ お客さまセンター

受付時間：(365日)9：00〜18：30

総合相談窓口　☎ **050−3116−3434**

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機（株） お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5

FAX：大阪(06)6994ー9510

家電商品の修理サービスについてのご相談　三洋電機サービス㈱

受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜18：30

(7〜8月　8：45〜19：30)

土曜・日曜・祝日・当社休日　9：00〜17：30

修理相談窓口

◆ 東コールセンター

関東・甲信越地区	☎ 050−3116−2222 ☎ 東京(03)5302−3401
北海道地区	☎ 050−3116−2333
東北地区	☎ 050−3116−2444

◆西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	☎ 050－3116－2555 ☎ 大阪(06)4250－8400
中部地区	☎ 050－3116－2666
中国地区	☎ 050－3116－2777
九州地区	☎ 050－3116－2888

沖縄地区	☎ 098－944－5018

(※)沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日を除く)

持込み修理および部品についてのご相談 三洋電機サービス㈱

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～17:30(日曜、祝日、当社休日を除く)

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点(サービスセンター、サービスステーション)で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

☆上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取扱いについての詳細は
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまご相談窓口（つづき）

持込み修理および部品についてのご相談

三洋電機サービス㈱

北海道地区

北海道

札幌サービスセンター
☎(011)831−9201
〒003-0013 札幌市白石区中央三条4−1−36

旭川サービスステーション
☎(0166)22−2421
〒070-0073 旭川市曙北三条7−3−3

函館サービスステーション
☎(0138)48−8301
〒041-0824 函館市西桔梗町589−295

釧路サービスステーション
☎(0154)22−1576
〒085-0035 釧路市共栄大通3−1−6

北見サービスステーション
☎(0157)23−4871
〒090-0037 北見市山下町4−7−14

東北地区

青森県

青森サービスステーション
☎(017)729−3401
〒030-0141 青森市大字上野字山辺29−5

岩手県

盛岡サービスセンター
☎(019)623−1600
〒020-0824 盛岡市東安庭2−10−6

宮城県

仙台サービスセンター
☎(022)287−8351
〒984-0032 仙台市若林区荒井字丑ノ頭43−1

秋田県

秋田サービスステーション
☎(018)862−6551
〒011-0901 秋田市寺内イサノ93−1

東北地区

山形県

山形サービスステーション
☎(023)641−1769
〒990-2331 山形市飯田西4−5−35

福島県

郡山サービスステーション
☎(024)945−6793
〒963-0107 郡山市安積3−120

関東・甲信越地区

茨城県

水戸サービスステーション
☎(029)251−4125
〒311-4152 水戸市河和田3−2386−1

つくばサービスステーション
☎(0298)64−4751
〒300-3261 つくば市花畑2−15−3

栃木県

宇都宮サービスステーション
☎(028)614−3883
〒321-0111 宇都宮市川田町字免ノ内765−5

群馬県

伊勢崎サービスステーション
☎(0270)40−7611
〒372-0003 伊勢崎市華蔵寺町87−1

埼玉県

さいたまサービスセンター
☎(048)778-3095
〒362-0025 上尾市上尾下780−1

坂戸サービスステーション
☎(049)284−8900
〒350-0214 坂戸市千代田5−3−17

千葉県

千葉サービスセンター
☎(043)208−3800
〒260-0842 千葉市中央区南町3−7−15

鎌ケ谷サービスステーション
☎(047)441−0111
〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

関東・甲信越地区	中部・北陸地区

東京都

武蔵野サービスセンター
☎(042)364―7721
〒183-0033 府中市分梅町5－9－1

城東サービスステーション
☎(03)5697―8160
〒120-0005 足立区綾瀬7－22－15 綾瀬7丁目ビル

城北サービスステーション
☎(03)5914－3413
〒174-0051 板橋区小豆沢(アズサワ) 1－23－10

城西サービスステーション
☎(03)5347－0761
〒167-0032 杉並区天沼3－12－12 テック杉並

相模原サービスステーション
☎(042)788－2760
〒194-0012 町田市金森851－3

神奈川県

横浜サービスセンター
☎(045)827―2831
〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃9―14

平塚サービスステーション
☎(0463)55-3926
〒254-0014 平塚市四之宮3－20－60

新潟県

新潟サービスセンター
☎(025)285―2431
〒950-0942 新潟市中央区小張木2－16－43

長岡サービスステーション
☎(0258)46―8065
〒940-2127 長岡市新産2－8－6

山梨県

甲府サービスステーション
☎(055)226―2561
〒400-0035 甲府市飯田4―8―23

富山県

富山サービスステーション
☎(076)422―7020
〒939-8211 富山市二口町1―13―8

石川県

金沢サービスセンター
☎(076)292－2060
〒921-8005 金沢市間明町2－100

福井県

福井サービスステーション
☎(0776)53－7134
〒910-0834 福井市丸山1－1002

長野県

松本サービスステーション
☎(0263)40－3411
〒390-0852 松本市島立1064－1

岐阜県

岐阜サービスステーション
☎(058)246―3417
〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋 1―35

静岡県

静岡サービスセンター
☎(054)236-0691
〒422-8034 静岡市駿河区高松 2－26－10

沼津サービスステーション
☎(055)935―0501
〒410-0822 沼津市下香貫七面 1152－2

浜松サービスステーション
☎(053)461―8685
〒430-0812 浜松市南区本郷町123

愛知県

名古屋サービスセンター
☎(052)485―3620
〒453-0816 名古屋市中村区京田町 2－1

岡崎サービスステーション
☎(0564)23-3418
〒444-0860 岡崎市明大寺本町1－20 明大寺本町ビル1階

中部地区

三重県

津サービスステーション
☎(059)236−5195
〒514-0111 津市一身田平野285−2

近畿地区

滋賀県

滋賀サービスステーション
☎(077)514−2221
〒524-0021 守山市吉身4−1−24 南井産業第3ビルB棟

京都府

京都サービスセンター
☎(075)672−0877
〒601-8135 京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル

福知山サービスステーション
☎(0773)24-3405
〒620-0062 福知山市和久市町290 和久市岩堀ビル2階

大阪府

大阪サービスセンター
☎(06)6992−6235
〒570-0086 守口市竹町4−13

大阪南サービスステーション
☎(06)6761−4600
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5−1−14 三洋ビル2F

大阪東サービスステーション
☎(072)965-1811
〒578-0903 東大阪市今米2−3−29

阪和サービスステーション
☎(072)221−8571
〒590-0026 堺市堺区向陵西町2−1−24

兵庫県

神戸サービスセンター
☎(078)651-3951
〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町2−2−18

近畿地区

阪神サービスステーション
☎(06)6432−3401
〒661-0026 尼崎市水堂町4−17−6

姫路サービスステーション
☎(079)282−7892
〒670-0943 姫路市市之郷町1−9

淡路サービスステーション
☎(0799)42-6015
〒656-0478 南あわじ市市福永536−1

奈良県

奈良サービスステーション
☎(0744)22−7888
〒634-0817 橿原市寺田町113−1

和歌山県

和歌山サービスステーション
☎(073)473−7112
〒640-8301 和歌山市岩橋1636−1

中国地区

鳥取県

鳥取サービスステーション
☎(0857)24−2930
〒680-0843 鳥取市南吉方3−107

島根県

松江サービスステーション
☎(0852)23−1183
〒690-0044 松江市浜乃木2−15−3

岡山県

岡山サービスセンター
☎(086)245−1634
〒700-0973 岡山市下中野703−101

広島県

広島サービスセンター
☎(082)293−6511
〒733-0012 広島市西区中広町2−1−2

福山サービスステーション
☎(084)954−4101
〒721-0952 福山市曙町4−22−10

中　国　地　区	九　州　地　区
山口県 **山口サービスステーション** **☎(083)973−3391** 〒754-0024　山口市小郡若草町2−6	**久留米サービスステーション** **☎(0942)37−3934** 〒830-0038　久留米市西町105-18 **長崎県** **長崎サービスステーション** **☎(095)813−3545** 〒851-0101　長崎市古賀町1006−5 **佐世保サービスステーション** **☎(0956)31−7635** 〒857-1162　佐世保市卸本町17−1 **熊本県** **熊本サービスセンター** **☎(096)388−3434** 〒861-8045　熊本市小山3−2−11 熊本トラックターミナル内 **大分県** **大分サービスステーション** **☎(097)543−3454** 〒870-0829　大分市椎迫5−6 **宮崎県** **宮崎サービスステーション** **☎(0985)29−3441** 〒880-0022　宮崎市大橋3−224 **鹿児島県** **鹿児島サービスステーション** **☎(099)251−4615** 〒890-0068　鹿児島市東郡元町12−14

四　国　地　区
徳島県 **徳島サービスステーション** **☎(088)699−4131** 〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189−1 **香川県** **高松サービスセンター** **☎(087)843−1840** 〒761-0101　高松市春日町字片田1657−1 **愛媛県** **松山サービスステーション** **☎(089)979−3486** 〒799-2655　松山市馬木町274 **四国中央サービスステーション** **☎(0896)23−3416** 〒799-0404　四国中央市三島宮川2−732−4 **高知県** **高知サービスステーション** **☎(088)831−2570** 〒780-8007　高知市仲田町6−12

九　州　地　区	沖　縄　地　区（※）
福岡県 **福岡サービスセンター** **☎(092)441-2541** 〒812-0016　福岡市博多区博多駅南4−6−23 **北九州サービスステーション** **☎(093)521−5286** 〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町2−4−7	**沖縄県** **沖縄三洋販売(株) サービス部** **☎(098)944−5018** 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■保証書はVPC-HD700KITに付属の取扱説明書に記載しています。所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このAV接続キットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P61]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(VCP-HD700KIT)
3. お買い上げ年月日(保証書に記入)
4. おなまえ、おところ、電話番号

総合相談窓口　受付時間：(365日)9：00〜18：30

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電商品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株) お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2ー5ー5
FAX：大阪(06)6994ー9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋電機サービス(株)の「修理相談窓口 [P61]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

デジタルシステムカンパニー　デジカメお客さま相談係

電話　大東（072）870-4184**（直通）**

アフターサービスについて（つづき）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　番	VCP-HD700KIT
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	電話（　　）　—
もよりのお客さまご相談窓口	電話（　　）　—

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows XP □Windows Vista	□Mac OS X バージョン：

無料修理規定

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
  ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
  ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
  ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  ホ．本書の提示がないとき。
  ヘ．本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  ト．消耗部品（例えば電池など）の交換。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（61ページ）をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
6．本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口（61ページ）にお問い合わせください。

●修理メモ

http://www.sanyo-dsc.com/

三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1

1AG6P1P5037--
SVN29/J（0708HS-SJ）